

HSK ☆ いちばんぼし

HSK通巻244号

昭和48年1月13日第3種郵便物認可
平成4年8月10日発行(毎月10日)

全国膠原病友の会北海道支部
いちばんぼし 臨時号

1992. 8. 10

支部だより

20周年記念大会と
交流会のご案内



1992年8月10日

財団法人 北海道難病連
加盟団体 各位 様

全国膠原病友の会北海道支部
支部長 小寺 千明



全国膠原病友の会北海道支部
結成20周年記念大会開催のご案内

北国の夏、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

いつも私どもの活動に対しまして、暖かいご支援、ご助言を
いただいておりますことに心より感謝申し上げます。

昭和47年10月、わずか1名で発足いたしました北海道支部も、
多くの皆様の励ましに支えられて、結成20周年を迎えることと
なり、記念大会開催の準備をすすめております。

結成20年を迎えた現在、会員数は約270名となり、長いよう
で短くもあり、またとてつもなく長い歳月の重みを感じており
ます。

つきましては、日頃お世話になっております加盟団体の皆様
より励ましのお言葉、メッセージなどをいただけましたら幸い
に存じます。

ご多忙のことと存じますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げ
ます。

記

◇名称： 全国膠原病友の会北海道支部
結成20周年記念大会

◇日時： 平成4年9月5日(土)
午後1時30分～ 3時30分

◇場所： 北海道難病センター、3階大会議室
札幌市中央区南4条西10丁目 TEL.011(512)3233

◇記念講演： 「北海道における膠原病への取り組み」
— その歴史と現状 —
北海道大学医学部附属病院
オ2内科 佐川 昭 先生

（「病気とつきあう・自分とつきあう」
〈前支部長〉 三森 礼子

結成20周年記念大会と交流会のご案内

友の会の皆さん、お変わりなくお過ごしでしょうか。

友の会北海道支部結成20周年記念大会が、いよいよ1カ月後にせまりました。何度かお知らせしてきましたが、今回が正式なご案内となります。

同じ病気の仲間がわずか11名でつくった友の会北海道支部が、20年を経て今では270名を超す大所帯となりました。そして旭川、函館、帯広、北見、釧路、名寄、札幌に設けられた地区連絡会では、交流会や勉強会を行ったり、ミニだよりを発行したりして、それぞれの地域に即した活動も行われるようになりました。また医学・医療の進歩により完治はしないまでも、確実に長生きできるようになり、早期発見もされるようになりました。さらには他の疾病団体との交流や連帯の強化にも努めてきました。

しかし一方で、毎年10名前後の会員を失い、会員数の伸び悩みが指摘されています。そして長生きはできても再発や薬の副作用に対する不安は変わりません。さらには就職・結婚・妊娠・出産・老後など問題は山積みされています。特に高齢化社会に対する課題は周知のところですが、また社会福祉の後退は時代を逆戻りするかのような現象をみせています。

私たちが歩んできた20年は、確かに意義のあるものです。でも単なる通過点でしかありません。なぜならそれは私たちの病気が難病であることに変わりがないからです。それだけに二度と同じ苦しみを味わう人が出ないようにすることも私たちの役割だと考えます。そしてまだまだ山積みされた課題に向かって、これからが本番なのかもしれません。この20周年にそのことを皆さんとともに考えてみたいと思います。

記念講演には北大第2内科の佐川昭先生と前支部長の三森礼子さんをお招きして、それぞれ『北海道における膠原病への取り組み—その歴史と現状—』『病気とつきあう・自分とつきあう』と題して講演頂きます。また交流会では4人の先生にもご参加頂き、大いに語り合い楽しい一時を過ごしたいと思います。以前からすでに体調を整えている方も多いと思いますが、この記念すべき日に是非一緒に参加してみませんか。多くの皆さんのご参加を心からお待ちしています。



結成20周年記念大会・交流会



プログラム

9月5日(土)

- 12:30 受付開始
- 13:30 記念大会開会 (司会:大沢久子)
* 支部長挨拶 小寺 千明
* 記念講演
『病気とつきあう・自分とつきあう』
友の会北海道支部前支部長 三森 礼子
『北海道における膠原病への取り組み』
—その歴史と現状—
北海道大学医学部附属病院第2内科 佐川 昭先生
* 来賓ご紹介・ご挨拶
* メッセージ・祝電披露
- 15:30 閉会
- 16:00 難病センター前出発
- 17:30 ホテル到着
- 18:30 交流会
- 20:30 1日目終了

9月6日(日)

- 8:30 朝食(朝食後は自由時間)
- 11:00 ホテル出発
- 12:30 難病センター前到着・解散

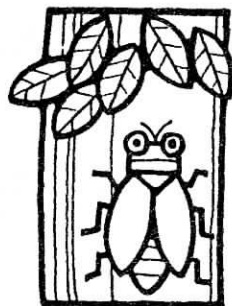
全道集会 無事に終わる！

去る8月1日に『第19回難病患者・障害者と家族の全道集会』が行われ、友の会からは北見・帯広・旭川などを含めて25名が参加しました。今年は札幌開催ということで特別な行事はありませんでしたが、友の会では分科会として全道集会終了後に交流会（16名参加）を行いました。友の会結成20周年記念大会の1カ月前ということで参加人数が心配されましたが、病気の落ち着いた方が多かったせいか、たくさんの方々に参加していただくことができ、無事に終了することができました。

全道集会は北海道難病連の主催で、年に一度全道のいろいろな病気の患者が一斉に集まり、社会に対して私たちの思いを訴えて聞いてもらい、団結を確認しあい、そして社会の理解と啓蒙を深めることにあります。今回初めて参加された会員の方から、代表理事の挨拶は元気で良かったし、患者・家族の訴えも分かりやすかったし、記念講演『医の世界』は勉強になったしすばらしかったという感想をいただきました。まだ参加されたことのない方は、一度は参加してみる価値はあります。来年は難病連の20周年にあたります。是非来年は参加してみてください。心の底からこみあげてくる何かがあるはずですよ。

会費納入のお願い

9月で会費が切れる方に、郵便振替用紙を同封いたしました。よろしくお願ひします。
友の会の会費は、**4,200円**(年間)です。



~~~~~  
〈編集人〉 全国膠原病友の会北海道支部

編集責任者 小寺 千明

〒064 札幌市中央区南 4条西10丁目

北海道難病センター内 ☎(011)512-3233

〈発行人〉 北海道身体障害者団体定期刊行物協会

札幌市東区北13条西1丁目 神原義郎

昭和48年1月13日第3種郵便物認可 HSK通巻 244号 100円  
いちばんばし臨時号 平成4年8月10日発行(毎月1回10発行)

~~~~~